

## フォーラム・セミナー報告

# 「スタディスキルゼミ」・「知のナビゲーター」ワークショップを開催しました

午前の部は全学共通の初年次導入科目である「スタディスキルゼミ」を担当する教員たちによる情報交換、午後の部はそれに加えて文学部開講科目「知のナビゲーター」担当教員と、LA (Learning Assistant) の学生も交えたワークショップ、という二部構成のプログラムで、去る3月31日に標記の催しを実施いたしました。

午前の部は、20名弱の先生方にご参加いただきました。4～5名程度のグループに分かれてそれぞれの先生方の授業の様子をお話しいただいた後、課題やノウハウの共有を目的としたグループ・ディスカッション、さらにそれを踏まえての全体ディスカッション、という構成でプログラムは進行しました。スタディスキルゼミの成績の標準化をどのように実現してゆくか、学生のモチベーションをどう喚起するか、コースの中でどのレベルまで高度な問題群を扱うべきか、などさまざまなテーマについて意見交換がなされました。

午後の部は、ぐっと参加者が増えておよそ30名強。教室はかなりの大盛況となりました。

企画と運営をしてくださったのは、文学部卒論ラボの3名の先生方です（金田純平准特任教授、林田定男特任助教、實瀬洋次特任助教）。それぞれ教員1名、LA2名からなるグループで、こちらが用意した新聞記事の中から各自が一つを選び、その記事の背景の紹介、内容の要約、記事に対する意見、をまとめてプレゼンする、というワークを実施してもらいました。これは、昨年度に新規開講された「スタディスキルゼミ（新聞で学ぶ）」で行われた授業運営のメソッドの一つです。このワークの目的は、時事への関心をはぐくみながら、事実・感想・意見をはつきり区分した客観的な文章を構成するスキルをトレーニングする、ということにありました。また、学生が実際にどれくらいの作業を、どれくらいの時間・質でできるのかを、特に新規にスタディスキルゼミや知のナビゲーターを担当する先生方に、間近に見て知っていただける機会をご提供したい、という運営側の願いがありました。教員向けのワークショップで、教員と学生が同じグループでいっしょに作業する、という形態はちょっと珍しいものだったかとは思いますが、ご参加くださった先生方にとって、本ワーク

日時：3月31日(土)10:00～15:30  
場所：第2学舎2号館 C301教室

ショップが4月からの授業作りのために少しでも何か役立つ素材となつたとすれば、運営側としては幸いです。

(教育推進部 須長一幸)



午後の部の一幕。  
グループで議論する先生とLAたち。



午後の部の一幕。議論も白熱してきた様子です。

# FD Caféを開催しました

4月21日、例年どおり“FD Café”（新任教員研修会）を開催しました。あまりの好天にOpen caféにした方がよかつたのではないかと迷いました。次回より選択肢の一つに加えたいと思います。昨年度より、新天地での授業を数回経てから開店した方が対話の内容にリアリティが添えられると（の意見を反映して、こちらの方がよいと）考え、この時期に開催することにしています。今後も、参加者、参加者OB・OGのご意見を反映してフレッキシブルに対応したいと思います。

FD Caféは今まで次のようなコンセプトに導かれて開店してきました。すなわち、Faculty



リラックスした雰囲気の中でダイアローグを行う  
参加者

〔大学教員集団〕が教育改善のために必要なこと〔能力・資質と限定的には書かない・言わない〕をDevelop〔開発・伸長〕するために、まずは教員間の意思の疎通・共有が求められるが、そのためには“Free Dialogue”が不可欠であり、それは私たちにとってはなくてはならぬ“Food & Drink”的ようなものである、折角、口にする機会に恵まれるのなら、美味しく、楽しく味わいたい、そんな場を何処かに持ちたい、ということです。今回は、ここに自分たちの所属する組織がどんなすがたであってほしいのか、私たちはそこにどれだけ関与できるのか、そんなことも考えていきたいと“Future Design”もそっとコンセプトに加えることにしました。

MENUはアイスブレイクを兼ねたグループピング、ミラーリングを用いた自己紹介、グループごとのダイアログ、グループ間の意見・情報を交換・共有するためのWorld Caféの定食に加え、今回はクリッカーを用いての情報交換を前菜に、OBの片倉啓雄教授（化学生命工学部）からはメインディッシュとなる話題を提供

日時：4月21日(土)13:00～16:30  
場所：第2学舎2号館 C505教室

して頂きました。片倉先生はWorld Caféをアレンジしたグループワークを実施して学生の講義に対するコミットメントを促しているそうですが、「失敗したくない」「間違えたくない」と考え、考動のスケールを小さくしてしまっている学生たちに「失敗しよう」「間違えよう」と発破をかけているとのことです。紙幅の関係で話題ならびにダイアログの内容をお伝えできないのはいかにも残念ですが、学生の能動的な学習を促し、支えるための意見やアイデアがいくつも出たことは今回の成果であると思います。

例年と同じく何某かの結論を得ることがCaféの目的ではありません。教師が意見や情報を交換することによって、共通するテーマや課題を発見あるいは発掘し、それに関する知見やアイデアを創出・共有することの意味や価値を実感あるいは予感すること、それが本Caféのねらいです。夏には昨年同様、Summer Caféの開催を予定しています。今回、ゆえあって参加できなかつた方々もどうぞ奮ってご参加ください。

(教育推進部 三浦真琴)